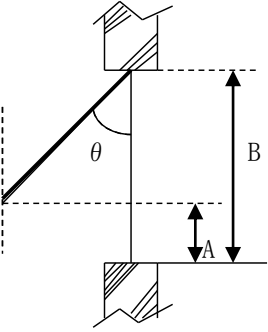
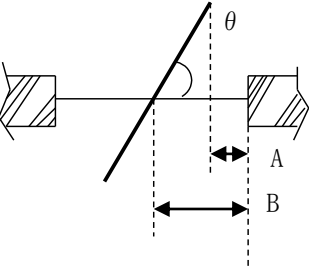
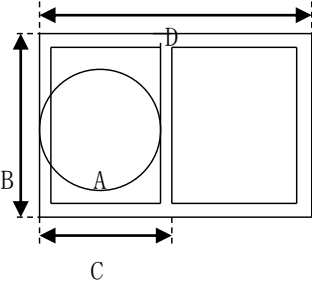
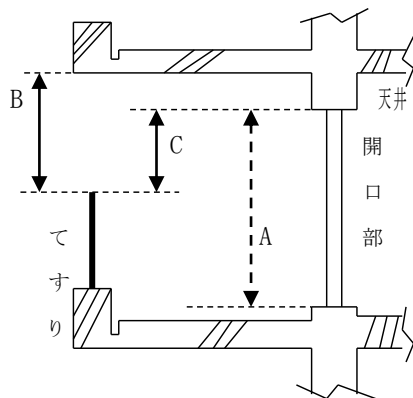


第 2 表 開口部の有効寸法

	型 式	判 断
突 出 し 窓		<p>A の部分とする。</p> <p>$B = B (1 - \cos \theta)$ θ は最大開口角度 (0 度から 90 度)</p>
回 転 窓		<p>A の部分とする。</p> <p>$A = B (1 - \cos \theta)$ θ は最大開口角度 (0 度から 90 度)</p>
引 き 違 い 窓	 <p>注 1 A及びC=0.5D 2 Aは50cmの円の内接 又は1mの円の内接</p>	<p>$B \times C$ とする。</p> <p>なお、次の寸法以上の場合は 50 cm 以上の円が内接するものと同等以上として取り扱うことができる。</p> <p>$B = 1.0 \text{ m (0.65 m) 以上}$ $C = 0.45 \text{ m (0.4 m) 以上}$ ()内は、バルコニー等がある場合。</p>

外壁面にバルコニー等がある場合



Aの部分とする。
なお、Bは1 m以上で、てすりの
高さは1.2 m以下とする。
バルコニーの幅員は概ね60 cm以
上の場合に限る。これによりがた
い場合は、Cを開口寸法とする。